



# 第3回 野外薬用植物観察会

作成者：3年 木村、田代、津田  
1年 田中

## 概要

2010年5月29日(土)に矢原先生、白崎先生引率のもと阿蘇で薬用植物の観察会が行われました。自然と親しみながら薬学と環境との関連や自然保護の必要性などを体感し、山登りをしたり、ゴミを拾ったりしました。

## 観察コース

薬学部キャンパス玄関→南阿蘇・久木野「あそ望の郷くぎの」→休暇村南阿蘇→杉林→車道→月廻公園→ラクダ山草原→南阿蘇・久木野「あそ望の郷くぎの」→薬学部キャンパス玄関

## 観察できた植物



**ノアザミ**  
キク科  
根 効能：利尿、神経痛、はれもの  
葉 効能：健胃

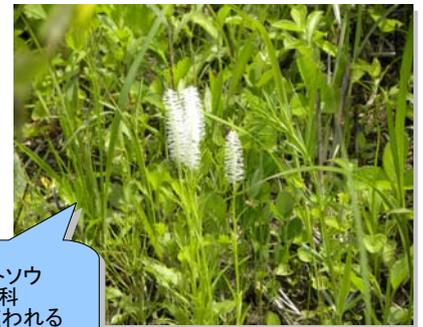


**ノドウ**  
ブドウ科  
根 効能：関節炎、目の充血  
若いつる 効能：目の治療



**アオキ**  
ミズキ科  
葉に文字を書くと浮かび上がってきたよ！！

ドクダミの葉を鼻につめると鼻づまりがよくなりますよ～。



**シライトソ**  
ユリ科  
茶花に使われる



**クララ**  
マメ科  
効能：疥癬、うじ虫駆除



**ユズリハ**  
ユズリハ科  
効能：駆虫、おでき



**ナルコユリ**  
ユリ科  
効能：滋養、競争



## 感想

今回、この野外薬用植物観察会に参加するまでは薬用植物についてほとんど知識がありませんでしたが、観察したり説明を聞いたりするなかで植物の名前や効用など様々なことを知ることができてよかったです。ただ歩いてみて説明を聞いて・・・というのを想像していたのですが、匂いを嗅いだり実際に口にしてみたりとたくさんのお話を体験することが出来ました。途中で急な斜面があったり大変なところもありましたが、そのぶん多くの植物を観察できました。これまで知らなかった植物を知ることができることは勿論、以前から知っていた植物はより詳しく知ることができ、今後に薬学などを学ぶうえで糧になってくれると思います。今回学んだことを忘れずに、これからの勉強も重ねたいです。また時間が経ってから、植物が成長した姿を見たいですし、植物を見て感じるものがどのように変化するかを知りたいと思いました。

・観察会では、何気なく咲いている草花にいろいろな効能があるということに驚きました。中でも、木材として使われているヒノキにも薬効があるのは意外でした。矢原先生の解説は、難しく理解できなかったものもありましたが、とてもためになりました。草花には形、色意外にも、におい、味、感触があるという当たり前なことを再認識することが出来ました。くさい草花や、苦い草花はもうこりだと思いました。また、何の変哲のなさそうに見える草花が、実は毒があるというのでもあってとてもびっくりしました。

今回見てきただけでもものすごい種類の草花があって、自然の神秘性を目の当たりにしました。これだけの自然が作りあがるためには相当の年月がかかったのではないかと思います。だからこのすばらしい自然は、人間のエゴで壊してはいけなしいと思います。人類は、自然を搾取するのではなく、自然と共生しながら自然から恵みを分けていただけるような関係であるべきではないかと思いました。

・パンフレットに薬用植物を五感で楽しむと書いていましたが、その名の通り五感で楽しむことが出来ました。また楽しむだけでなく、薬用植物の効能など学ぶこともたくさんありました。今回野外薬用植物観察会に行き、とても楽しく多くのことを学ぶことができたので本当に来て良かったです。また、自分の身近にある植物が意外な病気に効いたりしてとても驚かされました。自分ももっと知識をつけて、毒草と薬草の区別をつけることができるようになり、薬草を有効につかえるようになりたいと思いました。今回の野外薬用植物観察会で学んだことをこれからの薬学部での生活に役立てて生きていきたいです。



**講師：** 矢原正治(薬用植物学)、白崎哲哉(環境分子保健学)  
**参加者：** 今福、津田、田代、木村、勝木、井上、田中、杠、空岡、平井山田、福永、岸本、鶴田、渡辺、ハリ、堂園、衛藤、山川桃田、小野